

事業名	道路橋梁維持補修・環境整備事業
-----	-----------------

総事業費	30,151 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図			より安全に、より安心して道路利用ができる。
事業の実績 と成果	取組内容	道路の不具合箇所の現地調査及び測量設計を行い、工事発注後、工事指導及び完成検査を行う。	
	成 果	不具合箇所を整備することにより道路利用者が、安全に安心して道路を利用できる。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	道路施設の老朽化が進行しており、現在の予算ベースでは、対応しきれない現状であるため、予算増額の確保が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	道路の不具合に起因する事故は発生していないが、利用者の安全な通行を確保するために整備が必要な箇所は数多くある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	道路の不具合箇所の補修工事を行い着実に改善する。
-----------	--------------------------

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	道路メンテナンス事業（橋梁補修）
-----	------------------

総事業費	50,752 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施（Do）

事業の意図		より安全に、より安心して道路を利用できる。
事業の実績 と成果	取組内容	委託設計書の作成・設計協議・実施設計を行い、工事発注をし補修工事を行う。
	成 果	老朽化した橋梁を補修することで施設の延命化が図られ道路利用者が、より安全に、より安心して施設利用ができる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	老朽化した橋梁の補修工事を実施しても大型車両の通行制限を行わなければならない橋梁もあり、補修により橋梁の延命化は図られるが橋梁自体の強度見直しを行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	老朽化した橋梁を補修して安全な通行を確保する必要があり、長寿命化計画に沿って事業を実施していくことが重要である。計画に沿って事業を進めることが、最終的にはあんぜん の確保と投資額の軽減につながる。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	橋梁の長寿命化計画を基に、修繕計画をたて年次的に補修設計及び補修工事を行う。
-----------	--

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	交通安全対策事業
-----	----------

総事業費	6,500 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		より安全に、より安心して道路利用ができる。
事業の実績 と成果	取組内容	道路の不具合箇所の現地調査及び測量設計を行い、工事発注後、工事指導および完成検査を行う。
	成 果	不具合箇所を整備することにより道路利用者が、より安全に、より安心して道路利用ができる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市道の危険箇所や不具合箇所を改善し、安全な通行を確保するための工事で、適正に執行されている。改善を要する箇所が残されていることから、今後も継続して取り組まなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	通学路の不具合箇所を重点的に整備を行う。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	通学路の不具合箇所を重点的に整備を行う。
-----------	----------------------

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	交通安全施設整備事業
-----	------------

総事業費	9,353 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	より安全に、より安心して道路利用ができる。	
事業の実績 と成果	取組内容	道路の不具合箇所の現地調査及び測量設計を行い、工事発注後、工事指導および完成検査を行う。
	成 果	不具合箇所を整備することにより道路利用者が、より安全に、より安心して道路利用ができる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	不具合箇所がまだ多数あり、予算の増額が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	(参考 R4) 市道の危険箇所や不具合箇所を改善し、安全な通行を確保するための工事で、適正に執行されている。 日頃から、巡視に努め、事故が発生しそうな原因を可能な限り無くすることが重要である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	ガードレールの設置及び区画線などの交通安全施設の設置工事を行う。
-----------	----------------------------------

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	社会資本整備総合交付金事業（安城平松線）
-----	----------------------

総事業費	36,082 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施（Do）

事業の意図	道路利用者の安全性・利便性の向上が図られる。	
事業の実績 と成果	取組内容	改良計画の立案、委託設計、用地買収を行い、工事設計書を作成し改良工事を行う。
	成 果	現況幅員を拡幅することで安全な車両等の通行が確保できる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	平成12年度から改築事業や社交金事業による継続事業であるが、まだ未改良区間が残っているため、今後も継続して予算確保に努め事業完了を目指していく。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	平松工区の用地取得が前進したことにより、平園工区の事業完了を目指した重点的な工事の執行が求められている。距離は短いが着手の見通しが立った。今後も、事業推進のため、現地が連続する用地取得に努めなければならない。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	現在計画している未改良区間約L=1.0kmの平園工区は、用地買収も完了していることから、改良工事の早期発注・完成を目指す。
-----------	---

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	地方特定道路整備（負担金）事業
-----	-----------------

総事業費	1,500 千円
------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施（Do）

事業の意図		より安全に、より安心して道路利用ができる。
事業の実績 と成果	取組内容	県担当者との協議及び地元調整を行う。
	成 果	県道の機能充実が図られ、利用者の安全な施設利用が確保できる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	今後洲之崎地区の県道改良工事等もはじまり事業費の増加が予想される。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	災害時の緊急輸送道路として指定されている県道の機能充実を図り、利用者の安全な施設利用を確保するための負担である。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	災害時の緊急輸送道路として位置付けられており、早期完成に向け整備を進めていく。
-----------	---

事業名	社会資本整備総合交付金事業（現和下之町石堂線）
-----	-------------------------

総事業費	86,361 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	道路利用者の安全性・利便性の向上が図られる。	
事業の実績 と成果	取組内容	改良計画の立案、委託設計、用地買収を行い、工事設計書を作成し改良工事を行う。
	成 果	現況幅員を拡幅することで安全な車両等の通行が確保できる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	用地取得の課題で道路線形がなかなか決定できない現状である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	早急な整備が求められていることから、用地取得を進めつつ、工事に着手する必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	線形を速やかに決定し、用地買収や立木補償等を完了させる。
-----------	------------------------------

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	道路改良事業（浅川城線）
-----	--------------

総事業費	3,000 千円
------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施（Do）

事業の意図	より安全に、より安心して道路利用ができる。	
事業の実績 と成果	取組内容	改良計画の立案のための事前用地調査を行う。
	成 果	相続多数箇所等用地取得困難箇所等を事前に把握することによりスムーズな事業進捗につながる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	浅川城線の総延長8,914mと長いため区域を絞って事業を行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	事業着手する上で重要な土地所有者の特定に万全を期す必要がある。相続人多数の土地等を調査することにより、交付金事業でのスムーズな道路改良に繋げていく。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	用地調査を行い事業の円滑な推進のための事前調査を行う。
-----------	-----------------------------

事業名	現年度発生単独災害復旧事業
-----	---------------

総事業費	18,161 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		道路利用者の安全確保と圃場の安定収益を確保する。
事業の実績 と成果	取組内容	異常気象時（集中豪雨・台風等）に現場巡視又は住民通報により災害が発生した場合は、災害申請を行い査定を受検し、工事設計書を作成し復旧工事を行う。
	成 果	被災した箇所を早急に復旧工事を行うことで、道路利用者や安全確保や圃場耕作者の安定収入が確保される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	被災してから災害申請を行い、災害査定を受検し復旧工事までの過程に約3か月を要するため、復旧工事着手までの事故防止体制が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	被災個所の復旧工事で、適正に執行されている。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	異常気象時での災害が起こらないよう、通年道路や河川の維持管理やパトロールに努める。
-----------	---

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	交通安全対策補助事業（通学路緊急対策）
-----	---------------------

総事業費	97,536 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	通学路の安全性が高まり、利用者の安心・安全な利用につながる。	
事業の実績 と成果	取組内容	改良計画の立案、委託設計、用地買収を行い、工事設計書を作成し改良工事を行う。
	成 果	現況幅員を歩道拡幅など対策工事を実施することで安全な通行が確保できる

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	国の通学路対策としての重点施策の位置付けであるため、早期完成に向け整備中であるが一部用地取得が難航しており、進捗が上がっていない現状である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	相続人多数の土地があるため用地取得に時間を要しているが、今後も、早期完成へ向けて工事が可能な個所から整備を進める必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	用地取得を行い整備の推進を図りたい。
-----------	--------------------

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	甲女川線改良舗装事業【再編交付金】
-----	-------------------

総事業費	76,457 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	道路の安全性が高まり、利用者の安心・安全な利用につながる。	
事業の実績 と成果	取組内容	工事設計書を作成し改良工事を行う。
	成 果	現況幅員を歩道拡幅など対策工事を実施することで安全な通行が確保できる

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	県河川工事後、道路の嵩上が必要であり、交通量も多いため早期の完了が必要である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	県管理甲女川の河川改修により河川横の市道甲女川線の道路幅員が狭くなったL=270m区間の道路改良工事を行う。
-----------	--

【参考資料】

着工前	完成後
	

事業名	現年度発生補助災害復旧事業
-----	---------------

総事業費	150,554 千円
------	------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	道路整備の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		道路利用者の安全確保と圃場の安定収益を確保する。
事業の実績 と成果	取組内容	異常気象時（集中豪雨・台風等）に現場巡視又は住民通報により災害が発生した場合は、災害申請を行い査定を受検し、工事設計書を作成し復旧工事を行う。
	成 果	被災した箇所を早急に復旧工事を行うことで、道路利用者や安全確保や圃場耕作者の安定収入が確保される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	被災してから災害申請を行い、災害査定を受検し復旧工事までの過程に約3か月を要するため、復旧工事着手までの事故防止体制が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	被災個所の復旧工事で、適正に執行されている。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	異常気象時での災害が起こらないよう、通年道路や河川の維持管理やパトロールに努める。
-----------	---